

北海道シダ植物相調査報告 7 —石垣山・黄金山・春香山・空沼岳—

札幌市 武田千恵子

はじめに

過去に調査を行われた山もあるが時間が経っており、今後の研究の基礎資料として現在のシダ植物の様を残そうと調査を始めた。今回は道北の上川地方中央部の愛別町にあり大雪山に近く、また江戸時代の探検家 間宮林蔵・松浦武四郎が泊ったという洞窟がある低山の石垣山、石狩市北部浜益から近い黄金山、札幌市と小樽市に跨る春香山それと札幌市南部にある空沼岳を調査した。

調査方法

基本的に登山道周辺で確認されたシダ植物を野帳に記録し、同定に必要な最小限だけ採集し標本とした。北海道大学総合博物館陸上標本庫 (SAPS) に寄贈する予定である。特に希少なシダ植物は報告せず、SAPS に寄贈するに留める。分類体系は日本産シダ植物標準図鑑 (海老原 2016、2017) に依った。調査結果は表にまとめた。

調査地・調査結果

1 石垣山

石垣山の標高は 525m。2021 ~ 22 年の調査結果である。参考までに 2010 年と 2015 年の調査結果もまとめて載せてある。国道 39 号線から柱状節理が目立つ山で道有林である。登山道はパークゴルフ場から入った北電の発電所からと石垣山の裏側にあたる愛別町南三号線通を經由した林道か

らの 2 コースがある。ここでは前者のコースからについて報告する。

入口ではワラビ・トクサが迎えてくれる。ミヤマベニシダ・ジュウモンジシダ・クサソテツが続く。橋を渡ると湿地があり、オシダ・リョウメンシダ・オオメシダ・ミヤマシケシダ・イワガネゼンマイが現れる。倒木・立木にホテイシダ・オシャグジシダが揺れ、コタニワタリが多い。八十八箇所石碑を過ぎると笹の無い岩場になりシダが多くなる。クジャクシダ・イワガネゼンマイ・ヤマドリゼンマイ群落・オシダ群落・ジュウモンジシダ群落・ミヤマベニシダ群落。岩壁にはイワデンダ・イヌシダ・フクロシダが姿を表す。宿泊洞窟に行く階段がありヒメスギランを見ることが出来る。岩場を過ぎるとトウゲシバ・マンネンスギが多い。頂上の岩にはヒモカズラ・イワデンダが生えている。そこからすぐ古戦場跡地の碑があり林道の駐車場に至る。

46 種 2 雑種 49 分類群を確認した (表 1)。

マンネンスギは上部にまとまってある。同所にあるヒモカズラとエゾノヒモカズラは非常に似ているが、わかりやすいところでは茎と葉を合わせた太さが違い細い方がヒモカズラである (図 1)。

岩場の多い山でコタニワタリが多いが、もっとあってもよいトラノオシダは稀である。岩場では特有なシダが量が少ないながらも確認できる。イワシロイノデはソーラス (孢子囊群) をつけない若い株であった。